

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0372100966		
法人名	有限会社 介護しずくいし		
事業所名	グループホーム しずくいし		
所在地	岩手県岩手郡雫石町西安庭第15地割字下長谷地81-26 (電話) 019-691-1115		
評価機関名	岩手県岩手郡雫石町西安庭第15地割字下長谷地81-26		
所在地	(電話) 019-691-1115		
訪問調査日	平成19年11月7日	評価確定日	12月26日

【情報提供票より】(19年10月7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・(平成) 15年 12月 24日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 14.5 人	

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 900 円			

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	3 名	要介護2	8 名		
要介護3	7 名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 82.7 歳	最低	56 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	かつら内科クリニック、つなぎ温泉病院、小笠原歯科クリニック
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

背に岩手山、前方には御所湖があり、大自然に囲まれた農村地帯に立地している。近くに町立歴史民族資料館がある。
医療連携に力を置き、専任の看護師もおり、健康管理面で充実しているし、重度化や終末期に向けた指針を持ち職員が共有している。
ホーム敷地内に約200㎡の農園があり、園芸療法の取り入れは、農村地帯に立地するホームとしては多角的に見て望ましい状況である。
全体が明るい雰囲気を利用者本位を基本に、管理者も職員も前向きに取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の指摘は、入浴可否判断基準、研修履歴の保管、施設面の手すりなどであったが、それを前向きに受けとめ、改善されている。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価を行ない、問題点、改善点などを明確にし、それらを共有することで今後の取り組みに生かす工夫をしている。特に、評価時のみならず、年間を通して意識化し実践することに努めている。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議では状況報告とそれに対する質疑と運営にかかわる意見が主な討議内容になる。今まで出された意見の中で、夏休み中に地域の子供たちのラジオ体操の場としてホームの駐車場を開放し、ホームの案内板の設置をするなど、具体的に反映された例である。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	現在のところ家族の意見、苦情は無い。利用者の状況は毎月お便りで報告している。また、意見、苦情相談窓口を設置し受け付けるとか、玄関に投書箱を設けるなどの方途も取っている。 家族が来訪時に意向などを伺い、それを支援に反映する場合は比較的多い。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ラジオ体操の場所開放などは地域との連携を考える場合、色々な面から好ましい状況である。また年一回ではあるが、「家族介護教室」は素晴らしいと思う。可能であれば年数回できないものか。地域行事等への参加も前向きであるが、先ず自治会加入で地域での仲間意識を高めることを期待したい。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員の提案をもとにして「……地域と家族、入居者と施設とのきずなを大切にする……。」とした独自の理念を管理者と全職員の検討の上でつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝の申し送りの時間に理念の唱和を全職員で行なう。また、玄関や事務室に掲示をしており、常に理念を念頭に日々の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏休みのラジオ体操の場にホームの駐車場を開放し、毎朝地域の子供たちとその父母が集い交流となった。また、正月のみずき団子づくりに参加したり、地域の婦人消防協力隊との連携、地区長や民生委員への広報配布をしている。	○	地区長、民生委員を通じ、ホームへの理解、周知に努めると共に地域行事への参加、婦人消防協力隊との連携など地域との付き合いを心がけているが、地域の家庭、地域住民にまで踏み込むためにも自治会への加入、広報の活用方法の工夫等に期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義の理解と活用のため、自己評価を全員で行ない改善点を明確にし、全職員が共有することによって運営及び利用者の支援向上に努めている。外部評価で指摘された施設面、ケア面でも改善の進んでいることが認められた。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催している。ホームの状況報告とそれに対する質問意見を求め運営に反映している。夏休み中のラジオ体操への駐車場開放や、ホームへの案内板の設置などは、会議での意見の反映である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町主催の「家族介護教室」をホームで実施している。教室は年1回であるが、開催に当たって、事前、事後の連絡など具体的に連携の場になっている。また、町主催の地域ケア会議もある。広報もその都度提出している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	広報「グループホームしずくいし便り」や毎月利用者の近況を伝えるためのお便りを出している。金銭管理については、収支帳に記帳し、家族が来訪された折に閲覧し押印を得ている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に意見をよく聞くように努めている。玄関には意見・苦情箱も設けているが、現在は投書は無い。また、相談・苦情受付窓口も設けている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	グループ企業内の異動者の場合は、前もってホームを訪れて利用者に馴染むとか、他の場合は職員側が落ちついた対応を意識する、などを配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修計画を持っている。特にシルバーグループ教育委員会(北東北3県の同業組織)のプログラムやその他、県・市町村主催の研修等に参加する機会を確保している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	シルバーグループを中心に同業者との交流、研修を行っている。県内ブロックの中で岩泉町のグループホームと交換研修を持つことになっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者本人と家族が訪ねてきて本人が入居を決めた例がある。また、町から委託されて当ホームが実施している「家族介護教室」に参加している家族の中には入居を希望する本人も含まれておりホームの雰囲気に触れている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の表情が全般的に明るく、日常の職員とのあり方が良好であることが感じ取れた。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの希望、意向は介護計画書に計画作成の前提として記入されており、家族の意向と合わせてよく把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族の意向を中心に職員間のカンファレンスを通して、利用者本位の介護計画になるように努めていることが計画書で確認できた。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、利用者の現状を把握しながら、職員が2人一組で利用者1人についての計画素案を作り、全職員のカンファレンスを持って作成する。見直しは3ヶ月ごとに行ない、家族にも印を得る。それは1ヶ月ごとのモニタリングの積み上げである。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	看護師による健康チェックの実施など健康管理面での支援に努めている。将来的にはショートステイの機能を整え利用できるよう取り組んでいきたい。	○	ショートステイを実施するためには、専門課程を修了した職員配置など、まだ時間を要する状況にあるが、地域のためにも、多機能性を持たせるためにも実現できることを期待したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通院記録によると、利用者の多くは協力医院をかかりつけ医とし、事業所側で通院の支援をしているが、精神科や病状に応じてかかりつけ医以外の受診には家族に協力を頂いている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の重度化及び終末期看護・介護に関する指針を事業所として持っており、家族にも同意を得ている。職員も指針を共有しており、利用者本人、家族の意向を前提に最後までサービスに努める。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの状況、特に心の状況について、ミーティングなどで把握することに努め、その接し方、言葉かけなどプライバシーを損なわないような対応に心がけている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての大きな生活の流れはあるが、その中で一人ひとりのペースを最も大切に支援をしている。当日もその様子を実見することができたし、チャート記録でもうかがい知ることができた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食に対する一人ひとりの嗜好はチャートに記録。必要な時は他の食材にかえて好みに合わせるようにしている。食事の準備、片付けは分担しながらみんなでやっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は日曜日は足と清拭、月曜から土曜日には13時から17時までの時間帯は利用者の希望に沿って入浴していることが入浴表に記録されていた。入浴マニュアルによると、午後の検温チェックで37℃以上のときは看護師に連絡し判断を求める。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれができることを自由にやっている。敷地内には約200㎡の農園があり、畑作の得意な人は作業をし、それを見学する人など園芸療法を取り入れている。また、読書、詩作、折紙、書など趣味を活かしている。食事時などに役割分担をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	チャート記録やヒアリングにより、買物は1日おきに出かける人をかえて行なうこと、時々ドライブにも出かけるし、散歩したい人には自由にできるように支援していることが確認できた。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間を除き鍵はかけない。玄関にチャイムを設置し、人の出入りを確認できるようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策は火災、地震などを想定し、消防署の指導のもと、年2回の避難訓練、年3回の通報訓練、心配蘇生法の研修を行なうと共に地域婦人消防協力隊との連携もとっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量はチャートに記録し、チェックしている。カロリーと塩分の摂取量が多いとの指摘と指導が関連事業所の栄養士からあり、現状改善に取り組んでいる。	○	栄養士の計算でカロリー、塩分の摂取量が多いことで、利用者が肥満気味になっていることを指摘されており、今後ともこの指摘に配慮した食事内容にすることを継続的に取り組んでいくことに期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には時計、暦、花、掲示物などが、適当な場所に配置されており、玄関、トイレ、浴室、台所なども良く整理整頓されて不快感が無く居心地よい状況にある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの「ご利用のご案内」のパンフレットに、常日頃から使っていた家具等の持ち込み自由、部屋の中は自由にレイアウトできる、と記されているように、位牌を安置している人、家族の写真を貼っている人、自分で書いた色紙を貼っている人など、自分なりの居室づくりをしている様子を実見できた。		